



集落で最後の一軒になった家の田植え 豊田有希『あめつちのことづて』より

GⅢ－Vol.138

豊田有希写真展 あめつちのことづて

【同時開催】令和2年7月豪雨 Reborn プロジェクト

会期：2021年1月20日（水）－4月4日（日）

場所：熊本市現代美術館ギャラリーⅢ

時間：10:00－20:00 入場無料 火曜休館 *但し2月23日（火・祝）は開館し翌24日（水）休

主催：熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）

助成：公益財団法人 野村財団

*熊本市現代美術館 GⅢ（ギャラリーⅢ）は熊本・九州ゆかりのアーティストを紹介するスペースです。

あめつちのことづて

熊本市現代美術館では、138回目の企画として「G III-Vol.138 あめつちのことづて 豊田有希写真展」を開催します。熊本市に生まれ、独学で写真を始めた豊田有希（とよだ・ゆうき 1987-）は、フィルムカメラでの撮影、そして手焼きのプリントでの制作を続けてきましたが、1枚の新聞記事をきっかけに、2012年から水俣や芦北町黒岩地区に通うようになり、2015年に単身、水俣市に移住します。

「あめつちのことづて」としてまとめられたシリーズは、豊田が2016年から芦北町黒岩地区に通い、農作業の手伝いなどをしながら撮り続けた、畑仕事や祭り、食卓、そこに住む人々のポートレートなどです。昔ながらの素朴な暮らしを送るこの集落では、まだ道のない時代、行商人が不知火海の魚を担いで売り歩き、多く食されていました。

その後、2012年と最近になり、水俣病の症状が住民の多くに出ていたことなどが判明。当初は救済対象地域から外れていたものの、住民の証言と行商の証言記録が一致し、特別措置法案の対象と認められたのでした。

そのような中、同地区の人口も、他の多くの山間地域と同じように、減少の一途をたどっています。本展では、現在も集落の暮らしを見つめる豊田の、未発表作品を含む約40点（予定）を紹介します。

●関連イベント

アーティスト・トーク

日時：2021年1月23日（土）14時-15時 参加無料

場所：熊本市現代美術館ギャラリーⅢ

作家本人が作品を通して、水俣・黒岩地区の暮らしについて語ります。

※そのほか、2020年3月に水俣の町を巡るツアーを予定しています。



上：稜線がどこまでも続く、対面する景色、下：茶摘の合間の休息
ともに豊田有希『あめつちのことづて』より

令和2年7月豪雨 Reborn プロジェクト

本プロジェクトは、写真家・豊田有希が中心となり、令和2年7月豪雨で水損した八代市坂本町に残るネガフィルムを、クリーニングしてデジタル化し、再プリントするものです。

これらは、地元のアマチュア・カメラマン、故・東儀一郎氏らが、昭和30年ごろから撮影してきた、村の行事や、荒瀬ダム等の風景の写真やネガで、同町のラフティング会社「Reborn」を営むリバーガイド・溝口隼平氏が、資料として譲り受け、これまで整理・保管してきましたが、残念ながらその多くが、水害により水没することとなりました。

この「Reborn プロジェクト」は、それらの水損ネガを、ボランティア作業を通して復活させることで、町の方々に始め多くの方と、川を中心にした地域の記憶を共有することを目指すものです。今回は、プリント展示のほかに、復活した水損写真やネガをまとめた記録写真集を会期中に発行することを目指しています。

主催：ボランティアグループあめつち

助成：一般財団法人 熊本放送文化振興財団、
日本財団

※2020年2月半ばにドネーションブック

「Reborn」の発行及びトークショーを実施予定。



上：昭和29年12月27日 山の上から望むダム湖、水損した6×6フィルムよりデジタルデータ 下：219号線から坂本町の中心部へと続く坂本橋。豪雨にて流失（撮影年月日不明）。水損の激しかった35mmカラーフィルムのデジタルデータ

●水損ネガレスキュー作業時の風景（2020年7月、於：つなぎ美術館、熊本市現代美術館）



豊田有希 とよだ・ゆうき 写真家



1987年、熊本市生まれ。2015年より水俣市在住。

高校時代から独学で写真を始め、2012年から本格的な活動を開始。その土地の風土や暮らしを見て得るだけでなく感じ得ていきたいと考え、現在は住んでいる地域の周辺を主なフィールドとして撮影を行っている。潜在化する人種や差別など社会問題への意識を根底に持ちつつ、土地や人物の魅力も同時に表現することを目指している。

主な展示

- 2012年 個展「追憶の街」 gallery ADO、熊本
- 2012年 個展「追憶の街」 konya-gallery、福岡
- 2019年 個展「あめつちのことづて」 u-39 プログラム、つなぎ美術館、熊本

主なワークショップ参加歴

- 2017年 「Regarding of the pain of others」(全6回)
講師：小原一真、赤坂友昭(報道写真家) photo gallery-sai/大阪
- 2017年 「フォトドキュメンタリーワークショップ」
講師：Q. サカマキ(写真家)、外山俊樹(朝日新聞映像報道部)、東京都写真美術館/東京
- 2018年 「六甲山国際写真祭」講師：ソラブ・フーラ(写真家/マグナム正会員) 六甲山一帯/兵庫
- 2019年 「アンコールフォトフェスティバル」
講師：アントワン・ダカタ、ソラブ・フーラ(写真家/マグナム正会員) シェムリアップ/カンボジア

主な受賞歴

- 2011年 「河原町アワード2011」加藤種男賞、konya-gallery 賞、HRD 原田明和賞
- 2020年 「THE BACKYARD PITCH GRANT」受賞

本展に関するお問い合わせ：

熊本市現代美術館
〒860-0845 熊本市中央区上通町 2-3
電話：096-278-7500
メール：sakamoto@camk.or.jp
担当：坂本